

■事故の概況

人と車参照



事故類型：追突

発生日時：午前中

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

当事者B：普通乗用車 30歳代 男性

■ 事故の概要

Aは引っ越しの為、朝早くから荷物の積み込み作業を行ってから、転居先に向かうため、片側二車線の直線道路を時速約40kmで走行していました。

約100m先に大きな交差点を発見したとき、自車から「ガランガラン」と大きな音がして、あとで積み込もうとA車の屋根の上に置いたまま積み込むのを忘れていた鍋が道路に落下したのが分かりました。落下した鍋が気になり後方を振り返って3～4秒後に前を見るとB車が赤信号で停止していたので、慌てて急ブレーキをかけたが間に合わず、B車に追突しました。

■ 事故から学ぶ

Aの脇見による前方不注意が原因です。引っ越しという気忙しさで心にゆとりのないまま運転したための「ついうっかり」という気持ちが事故を引き起こしました。

ブレーキを踏んでから速度がゼロになるまで、距離が必要ですから、脇見運転をすることはとても危険です。

運転するときは運転に集中できるように事前に準備しておくことは基本的なことです。運転の最中に気が散るような原因はできるだけ取り除いて、集中して運転できる環境を作りましょう。